

# 千葉県地方創生「総合戦略」の中間点検について（平成27年度～平成29年度実施分）

○千葉県地方創生「総合戦略」の推進に当たり設定している **12項目の数値目標\***について、計画期間（平成27年度～平成31年度）の **中間年に当たる平成29年度までの3年間の進捗状況**を整理しました。※再掲除く  
 ○12項目の数値目標のうち、「①観光入込客数」など **11項目で目標達成に向け進展**している一方、「④県内製造品出荷額等」では戦略策定時の数値を下回り、進展していない状況です。  
 ○また、12項目の数値目標のうち、「⑦人口の社会増」など **7項目で最終年度の目標値に対する進捗率が60%を上回り順調に進展**していると考えられる一方、「⑩高齢者対策について満足している県民の割合」など5項目で目標達成に向けた見通しに懸念が生じつつある状況です。これらの進捗状況を踏まえ、引き続き、目標達成に向け着実に取り組むとともに、本県における地方創生の深化に努めていきます。

戦略Ⅰ 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした「世界中から人々がやってくるCHIBA」づくり  
 戦略Ⅱ (2) “国内外の多くの人々が集う”魅力あふれる千葉づくり

### ①観光入込客数

平成29年の実績値：179,340千人  
 平成31年の目標値：196,650千人

目標値に対する進捗率 43.7%

**【主な実施事項と成果】**  
 ・観光入込客数は5年連続で過去最高を更新  
 ・誰もが何年度でも訪れたい観光地づくりに向け観光トイレや観光案内板整備等に助成  
**【主な課題】**  
 ・本県は日帰り観光客の割合が高く、宿泊を伴う観光や滞在の長期化を促進する必要あり  
**【今後の中期的な取組方針】**  
 ・観光資源の掘り起こしや情報発信  
 ・経済効果の高い宿泊客の増加に向け、市町村との連携による宿泊・滞在型観光の促進  
 ・圏央道や外環道の整備効果を活用した北関東・南東北における観光誘客の促進

戦略Ⅰ 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした「世界中から人々がやってくるCHIBA」づくり  
 戦略Ⅱ (2) “国内外の多くの人々が集う”魅力あふれる千葉づくり

### ②外国人延宿泊数

平成29年の実績値：3,675千人泊  
 平成31年の目標値：2,667千人泊超

目標値に対する進捗率 137.8%

**【主な実施事項と成果】**  
 ・台湾・タイ・マレーシアでの知事トップセールスや旅行博への出展、商談会の開催等により、外国人延宿泊数は3年間で約4割増加  
**【主な課題】**  
 ・外国人観光客の周遊エリアは成田空港周辺や千葉・浦安地域に集中しているため、県内全域への周遊を促進していく必要あり  
**【今後の中期的な取組方針】**  
 ・県内周遊の促進に向け、対象国別周遊マップ作成や情報発信・プロモーションを行う  
 ・公衆無線LAN・多言語案内板の整備や、観光事業者等への外国人おもてなし研修の実施

戦略Ⅰ 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした「世界中から人々がやってくるCHIBA」づくり

### ③通訳ボランティア新規養成者数

平成29年度の実績値：468名  
 平成31年度の目標値：500名

目標値に対する進捗率 93.6%

**【主な実施事項と成果】**  
 ・通訳ボランティアの養成に向け、H28年度に講座回数を倍増、H29年度に定員を増加し、3年間で英語400人、中国語48人、韓国語10人、スペイン語10人の計468人養成  
**【主な課題】**  
 ・近年、外国人住民や外国人観光客の増加が顕著であり、オリンピック開催時に限らず、多言語コミュニケーション支援の継続が必要  
**【今後の中期的な取組方針】**  
 ・2020年東京オリンピック・パラリンピック開催後も、多言語コミュニケーション支援活動に従事していただけるよう、民間団体への働きかけなどボランティアの活用を検討

戦略Ⅱ (1) “一人ひとりの働きたい”がかなう千葉づくり

### ④県内製造品出荷額等

平成28年の実績値：11兆4,020億円  
 平成31年の目標値：13兆33億円超

目標値に対する直近の進捗率 -12.3%

**【主な実施事項と成果】**  
 ・京葉臨海コンビナート関連の人材育成に向け3年間で61回講座を開催し1,113人が受講  
 ・県内企業立地件数は3年間で179件増加新たに「茂原にいよる」「袖ヶ浦の森」の2工業団地を造成し、H29年度から分譲開始  
**【主な課題】**  
 ・原油価格の大幅下落に伴い石油関連製品等の販売価格が下落し製造品出荷額が減少  
**【今後の中期的な取組方針】**  
 ・本県製造業の中心である京葉臨海コンビナートの競争力強化に向け、規制緩和等の課題を整理・集約し、国への働きかけを行う  
 ・企業誘致セミナー等で、成田空港・アクアライン・圏央道など本県の立地優位性をPR

戦略Ⅱ (1) “一人ひとりの働きたい”がかなう千葉づくり

### ⑤県内年間商品販売額

平成28年の実績値：12兆5,632億円  
 平成31年の目標値：10兆7,577億円超

目標値に対する直近の進捗率 116.8%

**【主な実施事項と成果】**  
 ・事業引継ぎ支援センターではH27年7月の設置から3年間で569件の窓口相談実施  
 ・起業家応援事業をH27年度から開始し、3年間で起業支援イベントに1万人以上が参加  
**【主な課題】**  
 ・後継者不足等による廃業は、県内企業の技術や経営資源の消失につながる恐れがある  
 ・本県では閉業率が高いものの、すぐに廃業するケースが多いため、支援の充実が必要  
**【今後の中期的な取組方針】**  
 ・経営者の高齢化が進む中、県内企業に対しセンターの広報を行い、活用促進を図る  
 ・全県的に起業が活発になるよう、全市町村による創業支援計画の策定等を支援

戦略Ⅱ (1) “一人ひとりの働きたい”がかなう千葉づくり

### ⑥農業産出額

平成28年の実績値：4,711億円  
 平成31年の目標値：4,141億円超

目標値に対する直近の進捗率 113.8%

**【主な実施事項と成果】**  
 ・大口需要に対応するため産地間連携を進めた結果、ねぎやさつまいも等で連携が促進  
 ・国際水準GAPの足掛かりとなる「ちばGAP」の運用をH29年度に開始し15件認証  
 ※GAP…食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組(Good Agricultural Practice)  
**【主な課題】**  
 ・生産者の高齢化や後継者不足に対応するため、担い手の確保や、ICT等を活用した農林水産業のスマート化等を進める必要あり  
**【今後の中期的な取組方針】**  
 ・6次産業化の推進や、戦略的な販路開拓と産地間連携、担い手の確保、ICT等の新技術の活用、農地集積等により競争力を強化

戦略Ⅱ (2) “国内外の多くの人々が集う”魅力あふれる千葉づくり

### ⑦人口の社会増

平成29年の実績値：16,203人  
 平成31年の目標値：8,364人超

目標値に対する進捗率 193.7%

**【主な実施事項と成果】**  
 ・市町村との連携のもと、3年間で628人からの移住相談に対応し、8回のモニターツアーの実施(193人参加)等、移住検討者に対して居住地としての本県の魅力を直接訴求  
**【主な課題】**  
 ・各地域にはそれぞれ居住地としての異なる魅力があるものの、県外の移住検討者に地域ごとの魅力を十分に伝えきれていない  
**【今後の中期的な取組方針】**  
 ・市町村の施策立案に資する研究会等を実施し県内市町村の移住促進施策の底上げを図る  
 ・情報発信や本県への最初の接点となる総合案内など、県が担うべき役割を充実・強化

戦略Ⅱ (3) “それぞれの結婚・出産・子育ての希望”がかなう千葉づくり

### ⑧子どもを子育てしやすいと感じる家庭の割合

平成29年度の実績値：81.0%  
 平成31年度の目標値：80.0%以上

目標値に対する進捗率 125.0%

**【主な実施事項と成果】**  
 ・待機児童解消に向け保育所等の整備を支援した結果、3年間で定員が16,000人の大幅増  
 ・保育士確保に向け、H29年度から保育士の処遇改善(月額2万円の給与上乗せ)を実施  
**【主な課題】**  
 ・立地場所が少ない都市部での待機児童解消に向け、賃貸物件での保育所整備が必要  
 ・保育士の処遇改善に取り組むとともに、保育士の質・量を確保する必要あり  
**【今後の中期的な取組方針】**  
 ・賃貸物件による保育所整備への助成をはじめ、保育の受け皿整備をさらに加速  
 ・保育士の処遇改善や負担軽減に向けた処遇改善、潜在保育士の就職支援等を実施

戦略Ⅱ (4) “安全・安心な暮らし”がかなう千葉づくり

### ⑨自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制があると感じている県民の割合

平成29年度の実績値：63.6%  
 平成31年度の目標値：66.0%以上

目標値に対する進捗率 69.6%

**【主な実施事項と成果】**  
 ・救命救急センター2カ所の新規指定、東葛北部で周産期母子医療センターの未設置解消  
 ・在宅医療の充実に向け、H29年度から在宅医養成研修を開始し、123人が修了  
**【主な課題】**  
 ・人口10万対医師数が全国45位など医療資源が不足している中、高齢者人口の急増に伴う医療需要の増加が見込まれる  
**【今後の中期的な取組方針】**  
 ・引き続き在宅医養成研修を実施するとともに、患者を在宅医や訪問看護師等のチームで支える在宅医療連携拠点の整備を支援  
 ・看護職の働き方改革に向け、医療機関へのアドバイザー派遣や院内保育の促進に取り組む

戦略Ⅱ (4) “安全・安心な暮らし”がかなう千葉づくり

### ⑩高齢者対策について満足している県民の割合

平成29年度の実績値：16.8%  
 平成31年度の目標値：35.0%以上

目標値に対する進捗率 6.7%

**【主な実施事項と成果】**  
 ・H27年度から開始した元気高齢者活躍サポート事業により、地域で高齢者の見守り等を行う担い手を3年間で2,360人を養成  
 ・3年間で、認知症サポート医を計173人、認知症サポーターを約18万人養成  
**【主な課題】**  
 ・急速に進行する高齢化により、介護が必要となった際の介護者や住まい、見守り体制への不安等について、更なる増大が見込まれる  
**【今後の中期的な取組方針】**  
 ・介護人材の確保に向け、若い世代向けの魅力発信や、外国人・シニアの就業支援を実施  
 ・引き続き認知症サポート医を養成し、各市町村の地域包括支援センターとの連携を強化

戦略Ⅱ (4) “安全・安心な暮らし”がかなう千葉づくり

### ⑪定期巡回・随時対応型訪問介護看護実施市町村数

平成29年度の実績値：20市町村  
 平成31年度の目標値：30市町村以上

目標値に対する進捗率 33.3%

**【主な実施事項と成果】**  
 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護(ヘルパー等)による定期巡回と、24時間対応可能な訪問介護・看護の複合サービスのサービス提供事業者を支援する自治体への助成等により、H29年度末時点で20市町村が実施  
**【主な課題】**  
 ・サービス提供に係るコスト等の問題から、特に東部・南部で事業者の参入が進んでいない  
**【今後の中期的な取組方針】**  
 ・本サービスの普及に向け啓発を行うとともに、地域医療介護総合確保基金(国負担2/3)の活用による市町村への財政支援を実施

戦略Ⅱ (4) “安全・安心な暮らし”がかなう千葉づくり

### ⑫特別養護老人ホーム整備数

平成29年度の実績値：25,812床  
 平成31年度の目標値：30,000床以上

目標値に対する進捗率 48.2%

**【主な実施事項と成果】**  
 ・特別養護老人ホーム1床当たり補助単価を全国トップクラスの450万円とし、市町村との連携により3年間で3,895床を整備  
**【主な課題】**  
 ・介護人材不足が特別養護老人ホーム等の開設の妨げにならないよう取り組む必要あり  
 ・入所待機者数も依然1万人を超えており、引き続き計画的に整備を進める必要あり  
**【今後の中期的な取組方針】**  
 ・介護分野への就業や再就職定住、介護職のキャリアアップ支援等、人材確保対策を推進  
 ・今後、高齢者人口の減少が見込まれる地域もあることから、市町村との連携により、地域の実情に応じた整備を推進